

史跡 鷲ノ木遺跡 【関連資産】

(読み方) しせき わしのきいせき

(英語) Washinoki Stone Circle

【所在地】

北海道森町鷲ノ木町

【年代】

紀元前 2,000 年頃 (約 4,000 年前)

【キャッチコピー】

北海道最大規模の環状列石

【説明文：98字】

北海道最大規模の環状列石を伴う祭祀遺跡。環状列石は、楕円形の配石を中心とし、その外側に円環状の列石が二重に巡り、直径約 37m のほぼ円形である。その周辺に堅穴墓域などもあり、当時の精神文化を伝える。

【説明文：144字】

北海道最大規模の環状列石を伴う祭祀遺跡。環状列石は、楕円形の配石を中心とし、その外側に円環状の列石が二重に巡り、直径約 37m のほぼ円形である。その周辺には、堅穴のなかに 7 基の土坑墓を伴う堅穴墓域がある。環状列石のある台地からは駒ヶ岳を望むことができ、自然に対する考え方や信仰がうかがえる。

【説明文：243字】

内浦湾沿岸から 1km 内陸の河岸段丘上にある北海道最大規模の環状列石を伴う祭祀遺跡。江戸時代に噴火した駒ヶ岳の火山灰に厚く覆われていたため、遺跡全体が良好な状態で保存されていた。環状列石は、外周約 37m × 約 34m のほぼ円形であり、楕円形の配石遺構を中心に、その外側に円環状の配石が二重にめぐり、環状列石の周辺には、7 基の墓を伴う堅穴墓域、大小の石を組み合わせた配石遺構などがみられる。環状列石が構築された台地からは駒ヶ岳を望むことができ、自然に対する考え方や信仰がうかがえる遺跡である。